

Q35. 口が渴いて仕方ありません。どうしてでしょうか。

A.

・1つ目は、塩分や糖分を摂りすぎた場合で、これは「口が渴く」というよりも「喉が渴く」ということで、血液中のナトリウムやブドウ糖の濃度が高くなり、血液の浸透圧が高くなり、脳の「口渴中枢」が、刺激されて「水を欲しがる」状態が起きます。

・2つ目は、唾液が十分に分泌されないために、口腔粘膜が、乾燥する状態です。

透析患者さんの唾液分泌量を測定すると健常者に比較して減少していることがわかりますが、唾液分泌量の低下が、なぜ起こるのかについては、まだよく解明されておられません。しかし、透析が長期になるほどこの症状は、強くなる傾向にあります。

・3つ目は、服用している薬も考えられます。例えば、降圧薬や胃腸関係の鎮痛薬、風邪薬などです。

薬の影響かも？と疑問をもたれましたら、主治医に相談してみてください。

看護師